

『夢・可能性・生きぬく力』

～開校 150 周年（2028）と子どもたちが輝く未来に向けて～

京都府立聾学校のホームページにお越しいただき、ありがとうございます。

本校は、明治 11 年（1878）年に京都盲啞院として創設し、今年度で 148 年目を迎えました。初代校長 古河太四郎先生をはじめとして、先人たちの知恵と工夫で生み出された言語教育をはじめ、「教育は恕(じょ)の一字にあり」（恕とは思いやり）の言葉に込められた教育の精神は、今日もなお教育に関わる者として大切にしたい想いと考えます。

本校では、「子どもたちが、人と社会とつながりながら幸せに人生を歩む。」を将来の子どもたちの姿とし、そのために必要な力をはぐくむことを目標としています。将来の社会がいかに変化しても、「幸せ」は人と人が向き合い、社会（人々）とつながり、ともに在る中に生まれると考えます。

学校目標「夢・可能性・生きぬく力」は、子どもたちの夢・願いを実現するため、子どもたちの秘めた可能性を引き出し、自分自身の強みとして、多様で変化の激しい社会の中において、生きぬくことを表しています。そして、子ども達には新しいこと・未知のことに挑戦できる人に育って欲しいと願っています。

最後に、京都府に在住の聞こえが気になる乳幼児に対する相談をはじめ、聴覚障害のある幼児、児童生徒に対する教育相談、学校等への相談・支援や研修会等への講師派遣など、聴覚に障害のある子どもたちに対する支援を行う教育機関として、その使命を果たして参りたいと考えます。

どうぞよろしくお願いいたします。

令和 7 年 4 月

京都府立聾学校 第 26 代校長 竹本明史